

(7) 令和3年度上期下水道事業の概況

ア 建設事業の状況

既成市街地の汚水事業では、江戸川左岸流域関連下水道事業について、今年度整備面積約21.2ヘクタールを予定しており、汚水管布設工事10件の内7件を発注した。また、手賀沼流域関連下水道事業は、整備面積約4.3ヘクタールを予定し、汚水管布設工事3件全てを発注した。

つくばエクスプレス沿線整備では、運動公園周辺地区の汚水及び雨水事業の業務委託を締結した。両事業の今年度整備予定面積は、汚水事業が9.7ヘクタールであり、工事4件の内2件を発注した。また、雨水事業が0.3ヘクタールであり、9月末現在、発注準備中となっている。引き続き地区内造成事業の進捗に合わせて整備を進める。

イ 業務の状況

当期の排水区域人口は、186,330人で、前年同期に比べ4,854人(2.67パーセント)の増加があった。

行政区域内人口と比較する普及率は、91.64パーセントで、前年同期に比べ0.34パーセントの増となった。